

## [ CASE 09 ]

# 鈴木 翔太郎さん

朝日町消防団 第2副分団長

## 地域の人や財産を守るため いち早く現場に駆けつけたい



# 朝

日町出身の鈴木さんは、知人からの誘いをきっかけに入団。農業を営みながらも、活動がある際は、積極的に参加することを心がけているといいます。

「火事が起こった場合、すぐに消火活動をしないと、乾燥しやすい季節など周りの状況によっては燃え広がり被害が大きくなる可能性があります。火災は一刻を争うものですので、他の団員と協力し合ってなるべく早く出動するようにしています」

町の皆さんを守るため、進んで消防団活動に取り組んでいる鈴木さん。2023年には第2副分団長を拝命し、分団の管理や指導を行っているといいます。

「団員が困ったり何か要望があった時のサポートをしたり、研修では新入団員の指導を行っています。まだ知らないことが多く大変ではありますが、先輩たちにアドバイスをもらいながら頑張っています。新入団員は貴重な存在ですので、町を守る後輩たちにさまざまな技術を覚えてもらえるよう指導をしていきたいですね」

### Q1 やりがいはどんな時に感じますか？

操法など消防団に入らなければ出来ないような技術を覚えた時にやりがいを感じます。火事が起きた際に「どうしよう」と迷うのではなく、「どうすべきか」という考えで落ち着いて行動できるようになりました。火事が起きた際の通報の手順など、知識の面で身に付くことも多いです。



### Q2 入団して良かったと思うのは どんな時ですか？

普段の生活で話す機会がなかった人と、関わりを持った時です。活動を行っている時、あまり話したことがない住民の方からも「頑張ってるね」と声をかけてもらえたり、顔を覚えてもらえます。消防団は地域と密接に関わる場所ですので、仕事以外のコミュニティを築くことができますよ。



わからないことがあってもサポートしてもらえる環境がありますよ！

1

2

3

4

1. 防災訓練で消防幹部として整列している様子
2. 消防操法大会にも出場しました
3. 町の消防防災イベントにスタッフとして参加
4. 農家として米や野菜を育てている鈴木さん